# PJ ハンガー取扱説明書 (CASIO 用)

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この「取扱説明書」は、本製品を安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用の前に必ずお読みください。 また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

### 安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

### **注意**

下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると 人が障害を負う、または財産に損害を与える恐れがあります。



すべての止めネジはしっかりと確実に固定してください。けがや破損の原因となります。

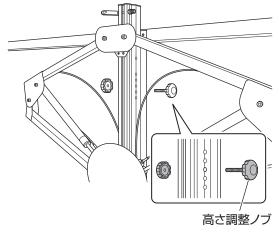
開梱時に必ず内容をご確認ください。

PJ ハンガー ·················· 1 個 プロジェクター固定ネジ(M4×10 セムス P=3) 4個 ケーブルホルダー················· 3 個

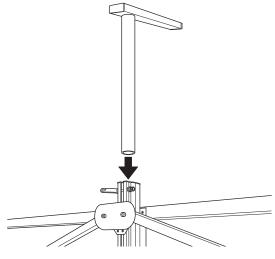
## PJ ハンガーをセットする

#### スクリーン本体の PJ アームの高さを 設定する

- 1. PJ アームの高さ調整ノブを上から3段目の穴に差し込み、しっかりと確実に固定します。
  - ・最上段と2つ目の穴の間は少し間隔が空いて います。

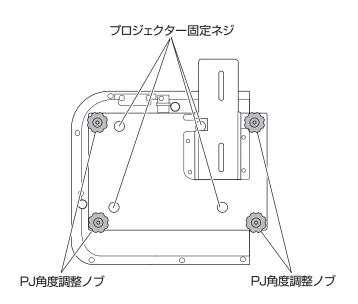


2. PJ アームを本体に差し込みます。



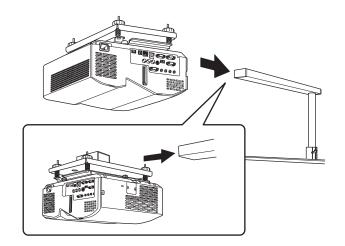
#### PJ ハンガーを取り付ける

- 1. プロジェクターを裏返して、底面のネジ穴に合わせて PJ ハンガーを置きます。
- 2. プロジェクター固定ネジを穴から差し込み、4 箇所を固定します。ネジがしっかり締まってい ることを確認してください。
  - ・固定ネジは長穴の中心に合わせてください。
  - ※長穴の固定する位置で、投影位置の微調整ができます。
  - ・プロジェクター本体や、作業台にキズが付か ないよう注意してください。
  - ・固定前に、必ずプロジェクターの前後を確認 してください。
  - PJ ハンガーを分解しないでください。
  - ・先端にマグネット付きのドライバーをお使いください。

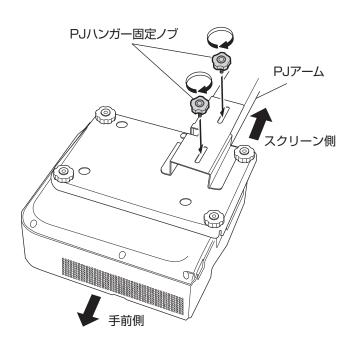


#### PJ ハンガーを PJ アームに設置する

- 1. プロジェクターを取り付けた PJ ハンガーを PJ アームに差し込みます。
  - ・プロジェクターの前後を確認してください。
  - ・バネ内部のワッシャーが、バネの根元中心に くるようにセットしてください。バネのヨレ が軽減されます。



 PJアームの3つのネジ穴のうち、手前側の2 つのネジ穴をスリットに合わせ、PJハンガー 固定ノブを差し込んで締めます。



### 投影画面を調整する

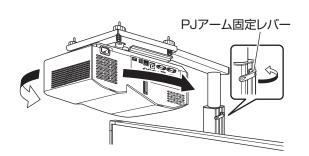
- 1. プロジェクターの電源を ON にします。
- ○参照 詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。
- 2. プロジェクターに内蔵されているテストパターンか、パソコンを接続して画像を投影してください。
- ◆注記 投影画面の調整には、解像度に影響が出る可能性がありますのでプロジェクターのデジタル補 正機能を極力使用しないことをお勧めします。

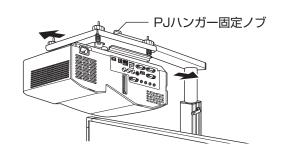
#### プロジェクター位置の調整(左右)

- 1. PJ アーム固定ノブを緩め、PJ アームをスク リーンに対して水平方向に動かしてプロジェク ターがスクリーンに対して 90 度の位置になる よう調整します。
- 2. PJアーム固定ノブを締めます。 PJアーム固定ノブを締めるときは、PJアームが回転しないよう手で押さえてください。



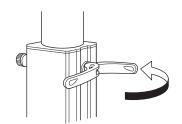
- 1. PJハンガー固定ノブを緩め、PJハンガーを 前後にスライドさせてプロジェクターと投影画 面の距離を調整します。
- 2. PJ アームのスリットの中心付近に合わせて PJ ハンガー固定ノブを締めます。



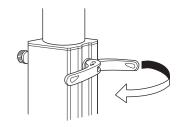


プロジェクターにデジタル補正や台形補正などを設定している場合は、すべて初期化して補正されていない状態にしてください。

### PJ アーム固定レバーを緩める/締める



PJ アーム固定レバーを起こして緩める

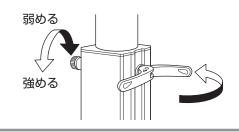


PJ アーム固定レバーを手前に倒して締める

#### PJ アームの固定力が弱いとき…

PJ アーム固定レバーを起こした状態で、ナットをイラストの向きに廻して固定力を調整してください。

※ナットの締めすぎにご注意ください。レバー破損の原因と なります。



#### 画像微調整チャート 画像の上辺がスクリーン枠内におさまり、スクリー ン枠上辺に沿って画像が水平になっているか? \*おさまっているが \*はみ出している \*画像の左右、下辺ははみ出ていてもかまいません。 画像を下にずらしたい 画像を上にずらしたい PJ 角度調整ノブのスクリーン側2つを時計回りに PJ 角度調整ノブのスクリーン側2つを反時計回り おさまっている 締め、画像の上辺がスクリーン枠の上辺に合うよう ・枠に沿って水平 に緩め、画像の上辺がスクリーン枠内におさまるよ 画像の位置を上げて調整する。 う画像の位置を下げて調整する。 画像の上辺左右が、スクリーンの枠内におさまって ◀ いるか? はみ出していないが 画像がはみ出している 画像が小さい 適度なサイズで おさまっている PJ ハンガーをスライドさせてプロジェクターの位 PJ ハンガーをスライドさせてプロジェクターの位 置をスクリーンから離し、画像の上辺左右がスク 置をスクリーンに近づけて、画像の上辺左右がスク リーンに入る位置で固定する。このとき、スクリー リーンに入る位置で固定する。このとき、スクリー ン枠の左右と画像の間に 10 mm~ 20 mm程度余 ン枠の左右と画像の間に 10 mm~ 20 mm程度余 白ができる画像サイズに調整する。 白ができる画像サイズに調整する。 画像の上辺左右の余白の幅が均等になるよう PJ アームの向きを左右に振って調整し仮固定する。 画像の下方へ向かって、台形になっているか? 下が広がった台形 下がすぼまった台形 PJ 角度調整ノブのスクリーン反対側(手前)2つ PJ 角度調整ノブのスクリーン反対側(手前)2つ を反時計回り (緩めて) に回し、画像の台形がおさ を時計回り (締め込んで) に回し、画像の台形がお まるように調整する。 さまるように調整する。 画像の左、または右の縦ラインが垂直になっていない。 左の垂直が出ていない 右の垂直が出ていない 画像左下コーナーを内側または外側に動かし、垂直に近づける。 画像右下のコーナーを内側または外側に動かし、垂直に近づける。 左 右 上 スクリーン スクリーン PJ 角度調整ノブの左手前側をゆるめる 内側へ: ▲ PJ 角度調整ノブの右手前側をゆるめる PJ 角度調整ノブの左手前側を締め込む 外側へ:▲ PJ 角度調整ノブの左手前側を締め込む

画像の下辺の水平が出ていない場合は、PJアーム

を左右に数 mm 振って調整する。

ケーブルを整理する

ケーブル類はスクリーンボードとパンタグラフの間に通し、付属のケーブルホルダーで束ねて整理してください。PJアームや本体背面に取り付けてご使用ください。

◆注記 パンタグラフにはケーブルホルダーを取り付けないでください。 プロジェクターの電源ケーブルやパソコン接続ケーブルが短い 場合は、延長ケーブルをご用意ください。



PJアーム固定ノブを本締めして、PJ

アームが動かないように固定する。

製造元・問い合わせ先

泉 株式会社 樹脂事業部 東京樹脂課 〒 141-0021 東京都品川区上大崎三丁目 1番 1号 JR 東急目黒ビル 15F TEL:(03) 5719-7482

プロジェクターのフォーカスを合わせる。

※ プロジェクターの取扱説明書参照